



2021 Moto World Cup

Hikari Okubo 大久保光

2021.6.6 アッセン 予選 10 番手 決勝 8 位



オランダのアッセンで FIM Enel Moto World Cup (MotoE) が開催されました。アッセンはワールドスーパースポーツに参戦していた時に、走行経験があり、コースを知っていることは、強みになります。まだ、スーパーポール方式（1 周のタイムアタック）の予選で、大久保は 10 番手となります。

大久保は 4 列目からスタートダッシュを決め、1 コーナーでは 3 番手へとポジションアップ、熾烈なポジション争いを繰り広げますが、目の前でドミニク・エガーターが転倒したことで、トップ集団との差が出てしまいます。それでも、再び、トップ争いに追いつきます。ですが、残り 2 周という終盤に来て、タイヤのライフが厳しくなり、8 位でチェッカーを受けました。

それでも、決勝中のファーステストラップタイムでは 2 番手に記録されており、スタートの巧さ、速さと勝利を狙う力があることを示した戦いでもありました。今シーズンは、残り 2 戦 3 レースとなり、大久保はそこでの飛躍を目指します。



大久保「アッセンは走行経験があったので、これまで以上の結果を目指して挑みました。課題の予選ですが、まだ、スーパーポールでのタイムアップが上手く行かずに、予選順位は 10 番手からのスタートとなりました。スタートは上手く行きトップ争いに絡むことが出来たのですが、目の前の転倒のアクシデントがあり、思うような展開に持ち込むことが出来ませんでした。MotoE の車両は 220kg を超えることもありタイヤマネジメントが重要な戦いです。それでも、温存してチェッカーを受けることよりも、バトルをして上位を狙いました。順位に納得はしていませんが、競り合うことで得るものも大きかったと思っています。監督からは、ファーステストラップで 2 番手を記録したことを評価してもらい、勝てる要素はしっかり持っていると言ってもらいました。それを、結果で示せるように残りのレースを戦います」

7月1日に大久保が第5戦鈴鹿 MFJ グランプリにエヴァ RT 初号機 Webike TRICK STAR から JSB1000 クラスにスポット参戦することが発表されました。

大久保は「MotoE は、レース数が少ないので、走れる機会を与えてもらったことに感謝します。鈴鹿は木曜日 14 日から走行開始となりますが、しっかりと順応して上位を狙いたい」と挑みます。

※全日本ロードレース選手権 MFJ グランプリは、7月17日18日開催されます。

※次戦 Moto は 8月15日レッドブルリンクで開催されます。